

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	職員健康診断事業		整理番号	1001-052
前総合計画体系	政策	第6章 共に生き共につくる東みよし	担当部署	総務課
	基本施策	5 自立した公共経営の推進	所属長	松田 浩栄
	単位施策	(5) 定員管理及び給与等の適正化	電話番号	82-6303
根拠法令等	労働安全衛生法			
事業実施方法区分	<input type="checkbox"/> 町直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金等			
事業継続年数	事業開始年度	平成18年度	<input type="checkbox"/> 5年以内 <input type="checkbox"/> 6年～10年 <input checked="" type="checkbox"/> 11年～20年 <input type="checkbox"/> 21年以上	

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 具体的に誰(なに)を	職員健康診断	対象者	職員 153人 臨時職員 92人 (H31.4.1)
事務事業の目的 どのような状態にしたいのか	労働安全衛生法に基づき一般健康診断を行い、特定健康診査も兼ねる。健診後、異常所見ありの者については事後指導を行い、職員の健康維持に役立てる。		
事務事業の内容 どのような方法・手段で事務事業を行ったか	徳島県市町村職員共済組合にて主催する人間ドック受検者以外の職員(臨時職員等を含む)に対して、健康診断を実施する。現在、公益財団法人とくしま未来健康づくり機構(徳島県総合健診センター)に委託しており、年度初めに健診項目ごとの単価が決められ、委託契約を締結し、毎年4月・5月に三加茂庁舎及び三好庁舎の2ヶ所で行っている。また、新人職員の雇用時健診(雇入れ後3ヶ月以内に実施)も兼ねている。		
事務事業の成果 結果・実績はどうか	職員健康診断の結果は、受診後約2週間で健診機関から送付されており、個人に通知をしている。その後、異常所見ありの者については、衛生管理者(保健師)から医療機関への受診勧奨をしており、産業医による健康相談も実施している。 過去5年間の受診率は高く、病気の早期発見、早期治療に結びついており、職員の病気休暇の減少に寄与している。		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)
事業費【(a)～(e)の合計】	1,281,826 <small>うち繰越分↓ 0</small>	1,332,452 <small>うち繰越分↓ 0</small>	1,480,000 <small>うち繰越分↓ 0</small>
財源内訳	国庫支出金(a)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	県支出金(b)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	地方債(c)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	その他(d)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	うち受益者負担	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	一般財源(e)	1,281,826 <small>うち繰越分↓</small>	1,332,452 <small>うち繰越分↓</small>
特定財源の名称・金額			
令和元年度経費の内訳 事務事業に係る経費の詳細	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費 職員26人・臨時職員61人(定期健康診断92人 920,000円 前立腺がん1人 2,268円 腫瘍マーカー24人 59,616円 肝炎ウイルス検査53人 148,824円 胸部X線93人 120,528円 胃がん検診7人 36,288円 大腸がん検診26人 39,312円 大腸容器代26ヶ 5,616円)		
備考			